

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	658	配信日	2026/2/9	ジャンル	業界情報
テーマ	プラチナも下落？その理由とは				

金が大きく下落している一方でプラチナも連動する形で相場が下がっています。
2025 年末から 2026 年 1 月にかけて急騰したプラチナですが、
2 月初旬にかけて大きく調整する展開となりました。背景には、高値更新を受けた利確の増加や米ドルの急反発、
金・銀の下落に連動した動きなど、短期的な下落要因が重なったことが考えられます。
今回の下落で不安になる方は多いと思いますので、プラチナの相場上昇と下落の要因について解説していきます。

① なぜ 1 月まで上がったのか（上昇要因）

プラチナは金につられて上昇しました。背景は主に 3 つです。

1. **地政学リスクの高まり**
 - ベネズエラ・イラン・グリーンランドを巡る緊張などで「世界が不安定」という見方が拡大
→ 安全資産として金が上昇し、**プラチナも連れ高**
2. **FRB（アメリカの中央銀行）を巡る不透明感**
 - 次期 FRB 議長人事や独立性への懸念が市場を揺らし、貴金属買いを後押し
→ **プラチナは史上最高値 2,920 ドルを記録**
3. **中国の新しい先物市場への期待**
 - 広州先物取引所（GFEX）でプラチナ先物が開始
→ 投資マネー流入への期待で価格を押し上げ

② なぜ 2 月に下がったのか（下落要因）

短期的に下がった理由は「重なった悪材料」です。

1. **急騰後の「利益確定売り」**
 - 最高値をつけた反動で、投資家が一齐に売却
2. **ドル高への転換**
 - トラUMP大統領が利上げに積極的のウォーシュ氏が
次期 FRB 議長に指名
→ ドル高＝プラチナ割高 → 売り増加
3. **金・銀の下落に連動**
 - 金が下がると、プラチナも連れ安になりやすい
4. **中国市場の調整**
 - 上海金が過熱 → 強制決済の売りが発生し、貴金属全体の下げを拡大



③ それでも「中長期は崩れていない」理由

下がっても構造は変わっていません。

- ・ 自動車需要の回復期待（触媒用途）
- ・ 南アフリカの供給不安（採掘トラブル・電力問題など）
- ・ プラチナ ETF への資金流入が続いている

→ 需要はあるのに供給が不安定＝中長期では下支え要因が強い

迷っているお客様に使えるトーク

「いまプラチナは、自動車需要への期待や供給不安などが重なって比較的高い水準にありますが、
急に調整が入るのがプラチナ相場の特徴です。
実際に今回も、ドルが強くなったことや、金の下落に連れ安したこと、さらに高値後のファンドの利益確定売り
が重なり、一気に下落しました。
今後さらにドル高に振れたり、金が調整する局面があれば、
プラチナは連動してもう一段下がる可能性もあります。
そのため、まだ年初比で高い水準にある“いま”売っておくのが、一番安心な選択だと思います。」